

# 避難者と支援者による 2023 ふれあいフェスティバル 報告書

2023年12月

広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

東日本大震災から12年が経過しました。全国の避難者は約3万442人（復興庁：2023.05.01）。そのうち都内に広域避難されている方々は2,851名であり、広域避難では東京都が最も多い避難先となっています。

新型コロナウイルスの流行により、避難者からは「避難してきているのに感染してさらに迷惑をかけられない」「外に出る機会がなくなり、避難者同士で話せる機会がなくなってしまった」などの声が届くようになり、当事者団体の活動もコロナ禍を機に中止が相次ぎました。

2023年、新型コロナウイルスが5類感染症に位置付けられました。改めて、コロナ禍前に実施していた広域交流会に取組み、コロナ禍で希薄になってしまった避難者同士、また、避難者と支援者とのつながりの回復を目指しました。

**日時** 2023年11月3日（金・祝）10時30分～15時00分

**場所** 東京ボランティア・市民活動センター フリースペースおよび会議室 A/B  
（東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階）

**参加者** 157名 うち、会場参加者：避難者64名、支援者81名

オンライン参加者：避難者6名、支援者6名（愛知、岡山の参加者）

※避難者への周知は、各当事者団体や支援団体を通しての呼びかけとともに東京都都内避難者支援課が実施する「定期便」等により行った。

## 内容

### 1 開会式

(1) 実行委員長 挨拶 木幡四朗（ふるさと想う会 代表）

(2) 実行委員紹介

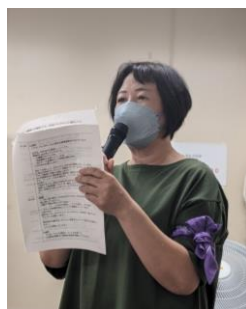
※なお、開会式・閉会式の司会は、避難当事者団体である「クローバーなります」の松崎真希子さんと広域避難者支援連絡会 in 東京（中央労働金庫）の山崎正孝が行いました。



木幡四朗 実行委員長



司会 山崎正孝



司会 松崎真希子



実行委員の紹介

### 2 ステージ出演

本イベントでは、落語、支援団体による演奏や笑いヨガ、フラダンス、そして、実行委員会企画としての抽選会をステージプログラムとして実施しました。

No	団体名	内容
1	三遊亭鳳志	落語口演
2	荒川グリーンパークトリオ	歌を聴いたり皆で歌おう！
3	東京ほくと医療生活協同組合	楽しく健康に！「笑いヨガ」
4	フラアネラ	フラダンスを楽しもう！
5	実行委員会	抽選会

### 3 ブース出展

本イベントでは、5つの支援団体によるブース出展があり、相談や被災者の写真と声の展示、手湯、健康チェックなどが行われました。

No	出展団体名	出展内容
1	放射線リスクコミュニケーション相談支援センター	放射線に関する相談ブース
2	NPO 法人フォトボイス・プロジェクト	写真と声の展示・販売
3	災害復興まちづくり支援機構	暮らしのなんでも相談会
4	東京足湯プロジェクト	手湯
5	東京都生協連	健康チェック

### 4 実行委員会企画

実行委員会企画として、次の3つのプログラムが行われました。

#### (1) ウェルカムボード

参加者の皆さんに楽しい雰囲気に参加してもらうことを目的にウェルカムボードを設置しました。

#### (2) メッセージボード

参加者の皆さんが普段思っていることやふれあいフェスティバルに参加しての気持ちを書いていただくメッセージボードを設置しました。

#### (3) 肩もみ隊

参加者の皆さんと交流を図るきっかけとして、肩もみを行う「肩もみ隊」を結成しました。多くの方から反響があり、交流を深めることができました。



ウェルカムボード

メッセージボード

### 5 オンラインでの交流

オンラインを活用して他県に避難している方との交流を行いました。愛知県被災者支援センターが行う「あおぞらカフェ」交流会が同時開催され、カフェの避難者の方々とオンラインを通して交流を行いました。また、岡山県に避難されているほとと岡山の方（代表者）との交流も行いました。

#### 主催 広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

(実行委員メンバー) クローバーなります、むさしのスマイル、ふるさと想う会、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、TCF (Tomioka.Connection.Fellowship)、江東区社会福祉協議会、板橋区社会福祉協議会、広域避難者支援連絡会 in 東京

(広域避難者支援連絡会 in 東京 参加団体) 荒川区社会福祉協議会、いたばし総合ボランティアセンター、AAR Japan 難民を助ける会、こどもプロジェクト、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、災害復興まちづくり支援機構、こくみん共済 coop<全労済>、中央労働金庫、東京足湯プロジェクト、東京災害ボランティアネットワーク、東京都生活協同組合連合会、東京ボランティア・市民活動センター、東京労働者福祉協議会、連合東京

後援 福島県、宮城県、岩手県、東京都

協力 東京都社会福祉協議会

#### その他 ご協力いただいた皆様

東京 YWCA / 中野区社会福祉協議会 / 東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) / 荒川グリーンパークトリオ / 東京ほとと医療生活協同組合 / フラアナラ / 放射線リスクコミュニケーション相談支援センター / NPO 法人フォトボイス・プロジェクト / 災害復興まちづくり支援機構 / 一般社団法人ふうあいねっと / その他 多くの個人の皆さま

※本事業は、東京都共同募金会の配分金、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、フォトボイス・プロジェクト、災害復興まちづくり支援機構の支援金を受け実施しました。



三遊亭鳳志さんによる落語。6月の交流会でも口演をして頂きましたが、今回も大盛り上がり。最初のステージ企画としては大成功でした。



実行委員企画として行った肩もみ隊。大好評でした！ぽつんとお一人である方に話しかけたり、参加者同士のコミュニケーションの機会になりました。



おなじみの荒川グリーンパークトリオによる演奏。歌を聴いたり、みんなで歌をうたいました。イントロクイズもあって盛り上がりました。



東京ほくと医療生活協同組合のインストラクターによる笑いヨガ。お腹が痛くなるほどの大笑い。



東日本大震災がきっかけで始まったというフラアナネラさん。参加者にも前にも出てもらって一緒にフラダンス！



参加者がいま感じていることをメッセージに書いてもらうメッセージボードを設置しました。多くの方がメッセージを寄せてくれ、ボードにいっぱいになりました。



参加者の皆さんに自由に取って頂けるお茶とお菓子を用意しました。岩手・宮城・福島の銘菓を置いたところ、参加者同士のコミュニケーションのきっかけにもなったようです。



東京都生協連による健康チェック。血圧測定、日ごろの食事の塩分チェックなどを行いました。



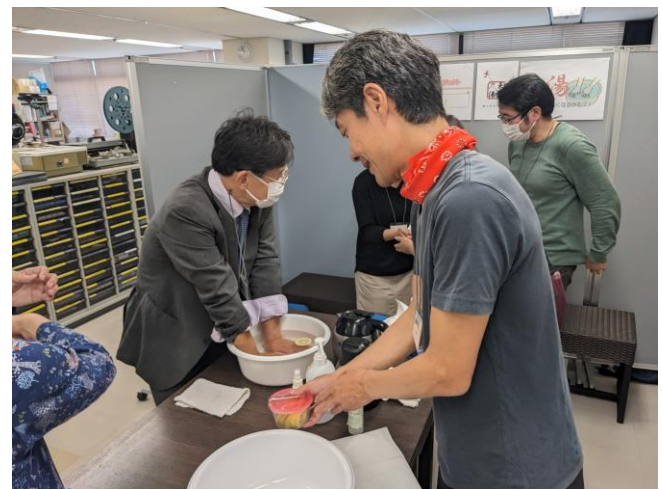
ふれあいフェスティバルはオンラインの参加もできるよう配慮しました。当日は、愛知県、岡山県から参加がありました。



最後に実行委員会企画で大抽選会を行いました！一等は3県自慢の麺セット。皆さん「ルーレット！」と大声を出して参加しました。



手湯コーナーの待ち時間で…と設置した折り紙コーナー。手仕事しながら参加者同士で雑談が交わせる場になりました。



初の試み「手湯」。結果的に大人気コーナーに。隣のブースの災害復興まちづくり支援機構の皆さんも一緒になって手湯を行いました。